

●国際ロータリーテーマ



世界へのプレゼントになろう



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●本日の例会

●RI第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

●第2721回 平成27年 9月 9日(水)

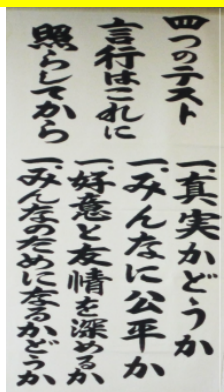
点 鐘 18:30~
四 つのテスト
会 長の 時間
幹 事 報 告 等

鯖江北RCと合同夜間例会

会場：神明苑

▼第2720回例会報告 2015年9月4日▼鯖江商工会館 3階 中ホール 出席率 82.1%

四つのテスト



君が代 奉仕の理想

佐野 直美 ソングリーダー



認知症を理解する

最も大切なのは、家族や周囲の人が学び理解すること。老化によるもの忘れと認知症によるもの忘れ。周囲から言われる前に、自らチェックしよう！市では、元気な高齢者を対象にももの忘れ検診を実施。以上が紹介であるが、私も含めて、ぜひとも認知症のチェック検査をお勧めしたい。

結婚祝



会長から結婚祝を受ける川手博明・大橋良史・岡本圭子会員(左から)

勤続表彰



同じく勤続表彰を受ける斎藤多久馬会員(右)

お客様の紹介及び会長の時間



初めに、永らく都合がつかなかったメンバーの、笑顔で出席があり、大変うれしく思う。次に、お客様の紹介。最初に、姉妹クラブ村上RC加藤幹司会員(写真上)。次に福井北RC多田伸会員(写真下)。市の広報に載っていた「認知症、自分ごと!」について、紹介する。



小部 隆充 会長

認知症は「脳の病気」

4人に1人が認知症の可能性

厚生労働省が平成24年に発表した調査。全国の65歳以上の高齢者のうち、認知症の人は、およそ5%。人数にして、約462万人。また、認知症になる可能性がある軽度認知障害も、約400万人(2%)いると推計。同高齢者の4人に1人が、認知症またはその予備軍。認知症は、誰にとっても、身近な病気である。認知症は、早期発見・治療がとて大切

本人や周囲が「おや?」と思っても、初期症状を見逃す場合や気づくのが遅れてしまい、手遅れになるケースがよくある。

医療や介護サービス利用で、認知症の人やその家族を支援するとともに、一人一人が認知症を理解することで、社会全体で支えることが求められている。

幹事報告



大橋良史幹事

会員満足度アンケートが、14名の方から寄せられた。とりまとめ週報に掲載。今後の参考にしたい。お礼申し上げる。本年、10月17日(土)ハートピア春江にて、福井西RCがホストで、IMを開催。できるだけ全員登録をお願いしたい。9月9日(水)、鯖江北RCと合同夜間例会。こちらは、多数の参加をお願いしたい。例会終了後、理事会をお願いしたい。

ニコニコBOX報告



感謝し報告する
岡本圭子委員長

- 1 小部 隆充
- 1 下村 義孝
- 1 齋藤多久馬
- 1 牧野 友美
- 2 大橋 良史
- 3 加藤 幹司・村上RC
- 4 岡本 圭子
- 5 桑原 重之
- 6 吉田 俊博

- 1 : 平岡さんの卓話を楽しみに
- 2 : 1、結婚祝を頂いて
- 3 : 6年ぶりにお会いできて
- 4 : 2、良いことがありました
- 5 : クモの糸必死につかみ昇りきり地獄の底より生還す
- 6 : 1、早退します

姉妹クラブ 村上RCメッセージ

村上RC会員 加藤 幹 司 様



久しぶりに皆様にお会いでき、嬉しく思う。

さかのぼると、23年前、1991年の姉妹クラブ締結。間部公にゆかりのある鯖江市と村上市が、姉妹都市を結んだご縁で、姉妹クラブを締結した。

当時は、ラブラブで、交流事業も活発だった。

その後、世の中の景気が悪化。クラブメンバーも減らしながら、力を落としつつ、今日を迎えている。

直近の交流は、2009年。ママさんバレーチームのスポンサーとして同行。夜、有志と交流でき、とても有意義だった。

村上RCの現況。会員数35名。内、女性7名。今年、初めて女性会長が誕生。「くれぐれもよろしく」とのことだった。メッセージを預かってきたので紹介する。

当クラブは、創立55年。その頃から、鯖江RCとご縁があり、1959年認証。1960年に、両クラブがチャーターナイトを実施。ここ3～4年は、退会者が続いている。

私は、RC32年のキャリア。クラブで、最長老。姉妹クラブと言っても、鯖江とのいきさつ知っているものが、少なくなってきた。遠くの親戚より近くの知人にシフトし、だんだん先人が薄れるのを恐れている。

今日は、私人の立場で参加。両クラブのつながりが、切れないことを願って、金沢まで来たので、出席した。

今、鯖江市は、ふるさと創生のモデル自治体として、脚光を浴びている。

我々の街は、近年の合併当時は、人口7.2万人。この8年間で、6.4万人になった過疎の街。姉妹都市の兄弟の市が、素晴らしい勢いなので、今後、「大勢訪れて研修したい」。そんな気持ちを抱いている。

クラブに帰ったら、今日の話をしたい。クラブ同士の友好と交流が、早急に実現するよう、努力する。

今後とも、何卒、よろしくお願ひしたい。

会員卓話 平岡 忠昭 会員

テーマ 「鯖江市の人口について」

会員卓話の機会は、10年ぶり。感謝する。

今ほどの、村上RC加藤会員の話ではないが、市議会は今も村上市と交流している。ただ、近年、財政的なこともあり、毎年行き来していたのが、2年に1度になり、今は4年に1度、お互いの市へ行き来している。この10月13～14日は、鯖江市から村上市へ訪問する。顔なじみの議員がいたが、合併から減った。

鯖江は、人口が増えている数少ない市だが、問題もある。

■懐かしい青春

その前に、押入れを整理していたら、懐かしいものが

出てきた。このボールは、50年以上前だが、学校の野球部を退部する時、3～4個もらったその1つ。今から54年前の昭和36年に、甲子園に出場したが、その時の試合球。頭に当たると頭蓋骨が、体に当たっても骨が折れる。回すので、触ってみてほしい。固い、50年前のボール。

今年は、全国高校野球、100年の年で、大会は97回。私が甲子園に出場したのは、43回大会、54年前。

■福井県の現状

人口と4月の市議会選挙のことを話そうと思ったが、人口のことに絞りたい。

国は、地方創生について、大臣まで作って、人口減少等の地方のことに、やっと取り組むようになった。30～40年前から、人口減は、わかっていた。その時から、手を打つ方法もあった。バブルがあったりして、人が都会に行き、子供を産まなくなった等、色々原因がある。

福井県も10年前に82.9万人の人口が、昨年、79.6万人。

10年で、3.3万人減った。

3.3万人というと、小浜市の人口3.1万人。大野市3.5万人。あわら市2.9万人。勝山市2.5万人。完全に小浜市が1つ、消滅したことになる。

■鯖江市の現状

鯖江市は、合併したS31年に8,500世帯、人口:41,735人。それ以来、H26年に22,769世帯。人口:68,941人。9市の中でも、少しずつだが、ずっと増えてきている。

しかし、1世帯当たりの人口が、S31年5人。H26年3人。核家族化が進んでいる。世帯数が、2.7倍となり、田んぼが減って、住宅が増えた。

次に、地区ごとの人口を見る。H10年とH27年の人口を比較する。この間、立待+1,984人、吉川+1,429人、豊+577人。河和田-1,010人、北中山-247人、片上-46人。西部が、+3,990人。東部が、-1,303人。完全に西高東低の状況。バランスよく増えてほしい。

最後に、2013年、年齢別・移動元先別・純移動数を見る。男女とも18～29歳までが、関東・関西・東海地方へ移動する。そのほとんどが、鯖江に戻ってこない。

逆に、25～29歳と0～4歳の福井県人が、鯖江で増えている。結婚した県内の人が、子供を連れて、鯖江に移り住んで、人口が増えているといえる。

■まとめ

鯖江の人口は、進学・就職と共に都会へ動き、そのほとんどが鯖江に戻らない。県内の子供がいる夫婦が、鯖江の西部に移り住んでいる傾向がある。

人口問題を解決するには、県外の人に鯖江市内に移り住んでもらい、県外の大学へ行った人に地元で就職してもらう必要がある。それには、それらの人を受け入れる産業が必要だと思う。地元産業の育成と理解、県外企業の誘致等が考えられる。



福井県内RC例会日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
無印: 12:30-開始 K: 18:30-開始 L: 19:00-開始	K 福井フェニックスRC(サ・グラン ユアーズフアイ) 福井南RC(福井織協ビル) 勝山RC(勝山市民活動センター) 武生RC(武生商工会館) 若狹RC(おれせくみ屋・1-6月物貯りやまね)	福井北RC(サ・グラン ユアーズフアイ) K 丸岡RC(丸岡城のまちコミュニティセンター) 大野RC(大野商工会議所会館) 鯖江北RC(神明苑) 敦賀RC(福井銀行敦賀支店)	福井RC(ユアーズホテル福井) L 福井水仙RC(福井パレスホテル) 武生府中RC(越前たけふ農協会館) L 敦賀西RC(ニューサンピア敦賀)	福井あじさいRC(ホテルパージュアネブ) 福井西RC(パードグリーンホテル・レジナ) 三国RC(三国観光ホテル)
月曜日 福井東RC(AOSSA)				

▲次回の例会 ▲第2722回 平成27年9月18日(金) 点鐘 12:30～